

	よくできた4	おおむねできた3	あまりできなかった2	できなかった1
1. 看護アセスメントについてその特徴を述べる ことができる (B)	看護アセスメントの定義と特徴を正確に述べ、具体的な例を挙げて説明できる。	看護アセスメントの定義と特徴を述べ、具体的な例を挙げて説明できる。	看護アセスメントの定義と特徴を述べるができるが、具体的な例を挙げるができない。	看護アセスメントの定義と特徴を述べるができないか、誤った内容を述べる
2. 事例を用いたゴードンの看護診断をもとに分析解釈統合を個人で行う ことができる (E)	事例を読み、患者の情報を11の機能的健康パターンに分類し、問題があるパターンに対して適切な看護診断名をつけ、その根拠となるデータを明確に示すことができる	事例を読み、患者の情報を11の機能的健康パターンに分類し、問題があるパターンに対してほぼ適切な看護診断名をつけ、その根拠となるデータを示すことができる	事例を読み、患者の情報を11の機能的健康パターンに分類することができるが、問題があるパターンに対して不適切な看護診断名をつけるか、その根拠となるデータを示すことができない	事例を読み、患者の情報を11の機能的健康パターンに分類することができないか、問題があるパターンに対して看護診断名をつけることができない
3. 看護問題の記述と看護計画をグループで立案 することができる (B)	グループメンバーと看護問題を明確に記述し、目標と介入を設定し、その効果測定方法を示すことができる。	グループメンバーと看護問題を記述し、目標と介入を設定し、その効果測定方法を示すことができる。	看護問題を記述することができるが、目標や介入が不適切であるか、効果測定方法を示すことができない。	看護問題を記述することができないか、目標や介入を設定することができない。
4. グループワークに積極的に参加することができる (B)	グループワークにおいて、自分の意見を積極的に発言し、他者の意見にも耳を傾け、建設的なフィードバックを行うこと	グループワークにおいて、自分の意見を発言し、他者の意見にも一定の配慮を示すことができる。グループの目標や方針に	グループワークにおいて、自分の意見を発言することができるが、他者の意見に対して無関心であるか、否定的な態度を	グループワークにおいて、自分の意見を発言しないか、他者の意見に対して攻撃的であるか、協調性を欠く。グループの

	ができる。グループの目標や方針に合意し、自分の役割を責任を持って果たすことができる	従い、自分の役割を果たすことができる	とることがある。グループの目標や方針に従うことができるが、自分の役割を十分に果たせないことがある	目標や方針に反するか、自分の役割を放棄する
5. シミュレーション演習において、自己の課題を知ることができる (B)	自己の課題を具体的に説明し、その原因や背景を分析し、改善策や学習目標を明確に設定し、実行に移すことができる。	自己の課題を説明し、その原因や背景を分析し、改善策や学習目標を設定することができる。	自己の課題を説明することができるが、その原因や背景の分析や改善策や学習目標の設定が不十分である。	自己の課題を説明することができないか、あるいは課題の認識が不適切である。
6. SBAR を用いて報告を行い、報告に必要なアセスメントの視点を知ることができる (B)	SBAR の各要素を適切に伝え、報告に必要なアセスメントの視点を明確に説明し、相手の理解や対応を促すことができる。	SBAR の各要素を伝え、報告に必要なアセスメントの視点を説明することができるが、一部分かりにくい表現や不必要な情報がある。	SBAR の各要素を伝えることができるが、報告に必要なアセスメントの視点を説明することができないか、あるいは誤った内容や推測が含まれる。	SBAR の各要素を伝えることができないか、あるいは報告の順序や内容が不適切である。